

西部 地区 福祉だより

ゆたかな心  確かなきずな

発行者
藤沢西部地区
社会福祉協議会
事務局藤沢公民館内
0466(22)0019

印刷(有)カワムラ印刷

令和5年度
高齢者おたのしみ会
令和6年2月9日(金)



第1部出演：三浦虎彦氏

令和六年二月九日(金)午後二時より毎年恒例のお楽しみ会が開催されました。
コロナ禍を経て内容も少しずつ変わってきましたが、今回は第一部ギター演奏と歌、第二部お楽しみ抽選会という構成でした。
第一部では市内藤が岡で福祉活動をされている三浦虎彦さんをお招きして、ギターの弾き語りと共に、来場の皆さまも懐かしい歌をうたって楽しみました。



第二部のお楽しみ抽選会では、特等電気ケトル、一等電気敷き毛布、二等マグカップ、三等ひざ掛けが合計二十名の方に当たり大いに盛り上がりました。
また、外れてしまった方には参加賞として箱ティッシュをお持ち帰りいただきました。
「久しぶりに皆さんで声を出して歌い、とても楽しい時間でした」「抽選には当たらなかつたけど、ティッシュのお土産は嬉しかった」などの声をかけていただき、無事開催できて感謝しております。

＊ 令和5年度 主な実施事業 ＊

令和5年度も、会員の皆さまのご理解とご協力により、様々な事業が実施できました。心より御礼申し上げます。

2023年(令和5年)	
8月	健康講座Ⅰ
9月	地域福祉研修会(理事研修会) 寿ぎの便り 敬老祝金の贈呈
10月	子ども会への助成金交付
12月	健康講座Ⅱ 在宅寝たきり高齢者への年末見舞金贈呈
2024年(令和6年)	
1月	百歳訪問
2月	高齢者おたのしみ会 福祉映画会
3月	小学校新入学児童への祝品贈呈



年々事情が変わるなか、次回も皆さまが楽しめる催しを計画できればと考えています。
来年も多くのの方々のご参加を、西部地区社協一同お待ちしております。



ご長寿を祝して

西部地区社協では、地区にお住まいの百歳、九十歳の方々へ敬老お祝い金をお届けしました。こちらにお名前を掲載し、改めてお祝い申し上げます。

祝 百歳

(大正12年4月1日)

大正13年3月31日生

一人(敬称略)

井出 甲子

祝 九十歳

(昭和7年9月17日)

昭和8年9月16日生

六十二人(敬称略)

相澤 昭八
石井 君子
石井 文子
石田 春子
一木 笑子
稲益 レイ子
上野 淑恵
白田 和子
大藤 佐喜子
尾澤 由子

尾島 和與
尾島 澄江
カートライトカズコ
葛城 ヨシ
加藤 弘子
金子 文子
川瀬 幾久枝
北橋 節子
窪 春子
窪 和子
昆布谷 和子
近藤 静子
酒井 衛子
坂間 泰一
佐藤 恵子
下平 美枝子
鈴木 重夫
鈴木 久子
関根 和江
高橋 悦子
多田 謙一
田野 ミサ子
鶴井 ミチ子

富井 定子
中嶋 進
永野 美智子
新倉 千代子
平野 ミイ
深尾 藤生
前田 哲子
間庭 美恵子
丸林 茂良
水島 てる
邑上 泰子
山田 シズカ
湯村 洋子
渡邊 裕子
渡部 泰廣
匿名 16人



寿ぎ(ことほぎ)の便り

今年度も敬老会に代わる事業として、対象者の方々に祝い品を送りいたしました。

☆対象者

令和五年九月十五日時点で

八十五歳・八十八歳・九十五歳の方

☆贈呈数

八十五歳 百三十三人

八十八歳 八十九人

九十五歳 二十四人

☆祝品

日本茶



茶言葉

“茶飲み友達” “日常茶飯事”

“お茶の子さいさい”など、

お茶にまつわる言葉は数々あります。

紙パックも便利ですが、「茶

柱が立つ」お茶をどうぞご

ゆっくりとお楽しみください

い。くれぐれも宵越しのお茶

は飲まずに…

「藤沢西部地区社会福祉協議会」

福祉ネットワーク「きずな」

☆高齢者の家庭、お一人暮らし、身体の不自由な方へのお手伝いをします。

受付：月・水・金(午前10時から午後3時)

電話 24-8480 奉仕料無し

小学校新入学児童 百十八名の皆さん おめでとう

ございます

お祝いの図書カードを各町内会・自治会を通してお届けしました。



令和五年度 健康講座Ⅰ

みんなで楽しむ簡単ランチ

令和5年8月6日(日)

今年度の健康事業最初の活動として、「みんなで楽しむ簡単ランチ」を開催しました。

グループごとに、メニュー四品目を作りました。親子や祖父母と孫などが参加して、調理から片付けまで段取り良く調理することができました。

なかでも、ハム・キャベツ・さつまあげ・ごはんを海苔の上に順々に置きながら、たたんでラップでくるみ半分は切り盛り付ける。たたんでおにぎり。は、見栄えもよく手が汚れずに食べやすいと好評でした。

途中、「ブドウゼリー」がなかなか

メニュー

- ◆ たたんでおにぎり
- ◆ フライパン キッシュ
- ◆ コーンポタージュスープ
- ◆ ブドウゼリー



固まらない！」というドキドキハラハラもあったり、ほとんど料理経験が無いというお父さんはみんなにアドバイスをもらいながら、笑顔の多いにぎやかな時間が過ごせました。

最後は、みんなで作ったランチを歓談しながら食べ、楽しいひとときを過ごしました。



参加者の感想

- ・簡単に作れるので、家でも作ってみたい。
- ・友達が増えてうれしかった。
- ・他の家族と交流でき、料理だけではなく楽しかった。

令和五年度 健康講座Ⅱ

スキマ時間でできる！
簡単トレーニングで
運動習慣を身につけよう

令和5年12月13日(水)

今年の健康講座も昨年に続き、ご要望の多かった 藤沢市保健医療センター 高橋健氏を講師にお招きして、申し込み受講生二十二名・役員六名の参加で開催されました。

まず、藤沢市の調査によりますと運動習慣の身についている高齢者は医療機関にかかる割合が少ないという結果が出されているそうです。

日頃から少しでも運動する習慣を身につける事が大事というお話の後、参加者の皆さまは二人一組になり、体力測定や体のゆがみを見るテストで自分の体を知り、少しの時間の隙間にできるストレッチや筋トレを教えていただきました。

参加された皆さまは健康講座が終わった後、体がほぐれ足取りも軽くなって笑顔でお帰りになりました。



参加者の感想

- ・根拠のある説明で分かりやすかった。
- ・参加者の年代に合わせたトレーニングでとてもよかった。
- ・日常的にできることが多かったので時々やってみようと思う。

令和五年度 福祉映画会

映画「かぐやびより」

上映会と監督トーク

令和6年2月28日(水)

藤沢市善行にある福祉施設「さんわーく かぐや」は、障がいがあってもなくても、地域で暮らす人たちが農作業や創作活動を通じて共にふれあい愉しめる場です。この施設の「くらし」を津村和比古監督が三年半にわたって記録したドキュメンタリー映画「かぐやびより」(105分)が、Fプレイスにて上映されました。

藤田靖正理事長の「障がい理解より、本人理解」の言葉を基調として、「通われて来る方の言葉のない表情や眼ざしを通して、深い悲しみ、不安、喜びが伝わってきて、ひとりの人間としてとても共感のできるシーンがたくさんありました」という、寄せられた言葉は多くの観客にも感じられたことだと思います。

上映後、監督・出演者(ご利用者)・「さんわーく かぐや」現理事長と創設者の藤田慶子前理事長十人ほどが登壇し、来場者からの質問に

津村監督はじめ出演者の皆さまがご自分の言葉で応答されたことも会場をなごやかにしてくれました。これからも「かぐやびより」が各地で上映されるそうです。もっと多くの方に観ていただきたい映画であると思います。

参加者の感想

・この映画がなかったら、障害の世界、福祉の世界を知らずに過ごしてしまったと思いました。(70代)

・とても自由であたたかなトークセッションでした。映画に登場している方たちとともに観ることができて幸せでした。ありがとうございました。(60代)



←「さんわーく かぐや」の皆さまが準備してくださった、参加者へのお土産(鉛筆立て)

令和五年度 理事研修会

《地域福祉研修会》

身近な地域福祉について語り合おう!

令和5年9月30日(土)

今年度の理事研修会は「日常の『困ったな』『不安だ』から考える地域福祉」という副題で、藤沢西部地区町内会自治会連合会との共催で開催しました。

第一部では藤沢市地域共生社会推進室の鎌田氏から「地域福祉とは」について地域生活課題の解決に向けての話をされました。

第二部は藤沢市社会福祉協議会のCSW(コミュニティソーシャルワーカー)伊藤氏から「地域福祉活動計画と

地域活動」について地域活動計画の基本目標に沿って、藤沢地区の特性と活動事例を紹介され、地域での見守りや地域住民と社会福祉の



関係者の連携が大切と話されました。

これらの報告をもとに第三部ではグループワークとして、市社協の第一層生活支援コーディネーター 小野氏による進行で、地域の特性を考えた課題解決などについて話し合い、各グループからの発表がありました。それぞれの地域の福祉についての情報交換もでき、身近な福祉について考える良い機会でした。

参加者の感想

・多様な関係団体の方と話し合う貴重な体験ができ、これからの活動に役立つと思った。

・役員の交替が多いので、このような研修の継続が大切だと思う。

編集後記

令和五年度はコロナ感染がようやく収束に向かい、今年度事業計画通りの事業ができました。

それぞれの報告写真から、参加者の皆さまがとても喜ばれている様子が伺えます。来年度も多くの皆さまのご参加をお願いいたします。

編集委員

廣瀬 石井 川村 清水 本谷